

アースデイ東京2024に出展しました！

JTSUは4月13日・14日「アースデイ東京2024」のワークスコープビレッジにブースを開設しました。3年目となる今年は、昨年取り組んできた「地方ローカル線の現地踏査報告」と、昨年10月に開催した「地域共生フォーラム」の様子を出展しました。また「JTSUポールdeウォークサークル」「東京歩み会」が「ポールdeウォークで地球を大切に」のブースに参加し、代々木公園の歴史を学ながら心地よい汗をかきました。

JTSUは、これからもワークスコープや地域の皆さんとともに、誰もが安全・安心して暮らせる社会を目指し取り組んでいきます！

こんにちは 日本輸送サービス労働組合連合会(JTSU)です

いま、全国でローカル線の廃線が相次いでいます。昨年10月に発行された改正「地方公共交通性白皮書」では、国が鉄道事業者と地域の協働を推進し、3年を目途に鉄道を廃止するか、バスなどに転換するかを協議する方針が示されています。駅口あり1日乗車券がなんと100円超の超低価格を誇る「東武東上線」も駅口あり1日乗車券が4千円未満の超低価格で発売が決定し、廃線が相次いでいる現状です。

また、JR東日本は対象とされていない2区間のうち、私鉄とJR東日本が共同で運営することになりました。私鉄は地域と密着した運営が得意です。地域の皆さまと共に、鉄道は地域にとって大切な存在です。地域の皆さまと共に、利用しやすい公共交通機関について考えていきます。

のべ265名の組合員でフィールドワーク

鉄道は環境にやさしい地域の足。災害時にはネットワークを活かした物資輸送、鉄道には、鉄道にしかない役割があります。

⑥鉄道は自家用車や飛行機などに比べて環境にやさしい交通手段です。一人の車を1キロ運ぶときに排出するCO2は自家用車の7分の1、新幹線の5分の1です。

地域共生フォーラムを開催

日本輸送サービス労働組合連合会



アースデイの詳細はこちら



3年目となる今年も JTSU ブースでは、鉄道のあり方について、多くの意見をいただきました！

掲示したポスター 詳細はこちら⇒

代々木公園が出来た経緯を学びながら、平和の大切さを実感しました！

